

事業報告
決算報告書

(第 3 5 期)

自 平成 2 5 年 4 月 1 日
至 平成 2 6 年 3 月 3 1 日

株式会社 札幌花き地方卸売市場
札幌市白石区流通センター7丁目3番5号

平成25年度 事業報告書

平成25年度（第35期）の当社の事業活動の概要をご報告いたします。

1 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過およびその成果

平成25年度のがが国の経済は、政府の経済政策や金融緩和への期待感から緩やかではありますが景気回復の兆しが見られ、また、個人消費をはじめ、国内需要についても堅調に推移している中、特に年度末期においては消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要による持ち直し傾向が見られました。

北海道経済は、公共投資が大きく増加するなど、経済政策による押し上げ効果が見られるようになりましたが、一方で、増税前の駆け込み需要の反動への懸念が残るなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような経済状況の下で、平成25年度の取扱高は、数量で1億1,632万本(前年度1億1,598万本)、金額においては85億8,392万円(前年度84億5,605万円)となり、数量で前年比0.3%増、金額で1.5%増となる取扱実績となりました。

なお、道内の花きを扱う卸売市場の取扱高は、平成25年(暦年)で139億7,436万円、前年比3.8%減であり、当市場の取扱は61.2%のシェアとなっております。

全国の花き市場の動向では、社団法人日本花き卸売市場協会の発表によると、全国の会員市場(卸売業者130社)の取扱金額は、約3,797億円で、対前年比0.6%減となっております。切花・鉢物ともに減少傾向が見られます。

市場の運営におきましては、一般市民の皆様には市場のPRやお花に親しんでいただくことを目的として、第2回目となる「花き市場まつり」を当市場に於いて開催いたしました。

また、このほかの花きの振興、需要喚起の取り組みとしては、北海道花き振興委員会を推進母体として、北海道花き品評会(切花・鉢花)を開催。さらに、花育への取り組みとして、鉢花生産団体と協力し幼稚園児を対象とした「お花に親しむ交流会」を行ったほか、「ミニさっぽろ2013」に出展し小学生に生花店の仕事を体験してもらうなど、卸売業者、仲卸業者、小売団体などと連携し、積極的に花育事業に取り組みました。

新年度の事業としては、これらに加え、国が進める「国産花きイノベーション推進事業」の北海道における事業実施主体となる「北海道花き振興協議会」が発足しましたことから、当市場としてもそれに参加し積極的な役割を果たすことが求められております。

業界一体となった消費宣伝活動の一層の充実が重要であることから、これらの事業を通し、更なる情報発信や道産花きのPRなど、市場活性化に向けた取り組みを進める予定です。

(2) 資金調達についての状況

① 資金調達

当期中において、新たな借入金、株式の発行、補助金の交付などはありません。

② 設備投資

当期中に行った設備投資は、建物設備として、切花棟および鉢物棟の大型暖房機の入替えて527万円、工具備品として、ひさしテントの加工で70万円であります。

(3) 直前三事業年度の財産および損益の状況

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
売 上 高	134,603 千円	132,200 千円	128,530 千円	128,751 千円
当期純利益	5,381 千円	6,118 千円	9,095 千円	6,503 千円
1株当り当期純利益	13 円 25 銭	15 円 06 銭	22 円 40 銭	16 円 01 銭
総 資 産	783,527 千円	728,296 千円	725,227 千円	815,445 千円

(4) 使用人の状況

従業員数 社員 4 名（男子 2 名、女子 2 名）、パートタイマー 2 名

2 株式に関する事項

- (1) 発行する株式の総数 500,000株
(2) 発行済み株式の総数 406,000株
(3) 当期末株主数 5 名
(4) 株 主

株 主 名	持 株 数	株式割合
札 幌 市	204,000 株	50.25 %
札幌花き園芸(株)	164,600 株	40.54 %
北海道植物(株)	19,000 株	4.68 %
(株)北海道銀行	16,000 株	3.94 %
はまなす花き(株)	2,400 株	0.59 %
計	406,000 株	100.00 %

3 会社役員に関する状況

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

役 職	氏 名
代表取締役社長	秋 元 克 広
専務取締役	山 本 正 博
取 締 役	川 畑 恵
取 締 役	綱 木 孝 夫
取 締 役	荒 木 隆 二
取 締 役	山 田 紀 雄
取 締 役	佐 藤 亮 二
監 査 役	木 村 雅 樹
監 査 役	木 村 伸 人

以上、平成 25 年度の会社の事業活動の概要をご報告いたしました。今後とも、全力をあげて市場運営に取り組んでまいりますので、関係各位の特段のご指導、ご支援を賜りますようお願い申しあげまして事業報告といたします。

平成 26 年 6 月 18 日

株式会社札幌花き地方卸売市場
代表取締役社長 秋元 克広

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 294,963,276 】	【流動負債】	【 198,148,271 】
現金	80,000	未払金	5,925,147
預金	284,181,198	未払法人税等	1,575,000
立替金	815,245	未払消費税	2,021,600
前払費用	1,036,741	前受金	0
未収収益	0	預り金	121,780
未収入金	8,858,950	精算代金預り金	187,031,594
貸倒引当金	△ 8,858	賞与引当金	1,473,150
【固定資産】	【 520,481,457 】	【固定負債】	【 46,312,318 】
(有形固定資産)	(404,253,002)	長期借入金	0
建物	176,336,402	預り保証金	40,090,000
構築物	4,188,582	退職給付引当金	6,222,318
工具器具備品	1,982,018		
土地	221,746,000	負債合計	244,460,589
(無形固定資産)	(625,655)	純資産の部	
電話加入権	248,311	科目	金額
ソフトウェア料	377,344	【株主資本】	【 570,984,144 】
(投資その他の資産)	(115,602,800)	資本金	470,000,000
投資有価証券	65,000,000	(利益剰余金)	(100,984,144)
保険積立金	12,800	その他利益剰余金	100,984,144
取引保証積立金	35,590,000	別途積立金	40,000,000
修繕積立金	15,000,000	繰越利益剰余金	60,984,144
		純資産合計	570,984,144
資産合計	815,444,733	負債・純資産合計	815,444,733

損 益 計 算 書

自平成25年4月1日

至平成26年3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
【 売 上 高 】		
施設賃貸収入	102,596,786	
売上高割使用料	47,211,534	
面積割使用料	37,729,944	
関連店舗使用料	17,655,308	
精算業務収入	23,374,278	
駐車管理収入	2,780,000	128,751,064
売上総利益金額		128,751,064
【販売費および一般管理費】		121,125,652
営業利益金額		7,625,412
【 営 業 外 収 益 】		
受取利息	315,404	
雑収入	2,259,153	2,574,557
【 営 業 外 費 用 】		
支払利息割引料	0	
賞与引当金繰入	1,473,150	1,473,150
経常利益金額		8,726,819
【 特 別 利 益 】		
貸倒引当金戻入益	9,503	
賞与引当金戻入	1,467,184	
退職給付引当金戻入	0	1,476,687
【 特 別 損 失 】		
固定資産除却損	0	0
税引前当期純利益		10,203,506
法人税、住民税及び事業税		3,700,304
当期純利益		6,503,202

株主資本等変動計算書

自平成25年4月1日

至平成26年3月31日

(単位：円)

	株 主 資 本				純資産合計
	資 本 金	利 益 剰 余 金		株主資本合計	
		その他利益剰余金			
		別途積立金	繰越利益剰余金		
前 期 末 残 高	470,000,000	40,000,000	54,480,942	564,480,942	564,480,942
当 期 変 動 額					
別途積立金の積立		0		0	
当 期 純 利 益			6,503,202	6,503,202	6,503,202
当 期 変 動 額 合 計		0	6,503,202	6,503,202	6,503,202
当 期 末 残 高	470,000,000	40,000,000	60,984,144	570,984,144	570,984,144

上記のとおりご報告申し上げます。

株式会社 札幌花き地方卸売市場
代表取締役社長 秋元 克広

個別注記事項

- 1 この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。
- 2 重要な会計方針に係る事項
 - (1) 棚卸資産の棚卸方法および評価基準
棚卸方法 ----- 実地棚卸
評価基準 ----- 最終仕入原価法
 - (2) 有形固定資産の減価償却方法
法人税法の規定による定率法によっております。但し、平成10年4月以降取得の建物については、定額法によっております。
 - (3) 無形固定資産の減価償却方法
定額法を採用しております。
 - (4) 有形固定資産の減価償却累計額 674,252,713 円
 - (5) 引当金の計上基準
 - ① 貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、0.1%を計上しております。
 - ② 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、自己都合による退職金の期末要支給額の100%相当額を引当計上しております。
 - (6) 1株当りの当期利益 16円01銭
 - (7) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
 - (8) 消費税の納付税額の計算方法は、原則課税制度によっている。また、その経理処理は税込方式としております。
- 3 株主資本等変動計算書に関する注記
 - (1) 当該事業年度の末日における発行済み株式の総数 406,000株
 - (2) 配当に関する事項
当期中における配当金の支払いはありません。
 - (3) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの
配当金の支払い予定はありません。